令和4年度稲荷山武田病院看護部教育計画

2022.3現在

【看護部教育目的】

病院・看護部の理念に基づき、確実な技術・豊かな感性と倫理観を育み、慢性期・終末期看護に対応できる、自律した看護実践能力者を育成する

【看護部教育目標】

① 慢性期・終末期にある患者に対して、幅広い専門知識と技術を基盤とした根拠のある看護を提供する
② 常に患者・家族の立場に立ち、倫理観を持って行動する
③ 目指す看護のために、変化に対して柔軟性・発展性を持ち行動する
④ チーム医療実践のため、人間関係を構築できるマインドとスキルの習得を目指す

ﾗﾀﾞｰﾚﾍﾞﾙ	対象者	担当	目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ラダーⅠ	2名		看護実践に必要な知識・技術と看護師役割を理解し実践できる		新人看護師研修プログラムに沿って実施（別紙参照）									心に残った看護発表	
ラダーⅡ	1名		・病院・及び看護部・部署の方針・目標と連動した自己の目標を立案し、達成に向けて行動できる　・メンバーシップを理解し、看護実践のチーム作りに主体的に参加する			看護実践チェックリストより、課題項目を重点的にOJTの中で学ぶ				京都市看護職能力向上研修：自己の課題からセレクトして受講			症例発表		
ラダーⅢ	11名		・病院・及び看護部・部署の方針・目標と連動した自己の目標を立案し、達成に向けて行動できる　・メンバーシップを理解し、看護実践のチーム作りに主体的に参加する					患者のきもちを知り、看護を考えるロールプレイ							
ラダーⅣ	10名		・病院・及び看護部・部署の方針・目標と連動した目標管理において率先して活動できる　・日々のリーダーとしてメンバーの支援ができる								はじめてのリフレクション～実践を新たなケアにつなげる～				
ラダーⅤ	2名 副主任		状況に応じ、リーダーシップを発揮することができる。 看護単位の課題を明確にし問題解決のために主体的に行動できる。								成人教育入門編：ティーチング・コーチング・ファシリテーションの基本				
マネジメントⅠ	主任 副師長		病棟単位における教育的役割がとれる。中間管理職としての自己の課題を明らかにし、自己研鑽できる									インストラクショナル・デザイン～教えたつもりで終わらない研修を計画しよう～			
マネジメントⅡ	師長		部署の提供する看護に責任を持ち、看護部全体の看護の質向上に向けた取り組みができる												
看護補助者	看護補助者		看護補助手として必要な知識・技術を身につけ、日々の業務を安全に実施できる												
緩和ケア教育ラダー			別表参照												
全体					ゴールシート作成 目標面接					中間面接				最終評価面接	
全職員対象 看護部各委員会より　推薦配信研修			認知症推進委員会												
			看護部安全委員会												
			退院支援推進委員会												
			看護部記録員会												

各自の年間計画に基づき配信研修受講

各自の年間計画に基づき配信研修受講

各自の年間計画に基づき配信研修受講

各自の年間計画に基づき配信研修受講

各自の年間計画に基づき配信研修受講：看護管理コース受講必須

各自の年間計画に基づき配信研修受講：看護管理コース受講必須

委員会の年間計画に基づき配信研修受講

緩和ケア教育ラダー表に沿って実施

各部署・委員会目標ポスター提示

各部署・委員会活動評価ポスター提示

院内看護研究発表会